



広重版画より 三島 朝霧

第2363回例会

2023.9.7曇

司会

小塚英樹君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 遠藤真道君

会長挨拶

会長 平出利之君

今月はロータリーの友月間です。先月中村ガバナーがお見えになった時、ロータリーの友の使い方の紹介をしてくれました。気に入った記事や気の付いた記事などを卓話などで皆さんに紹介するというアイデアです。今日の挨拶は8月号でビックリした記事を紹介したいと思います。それは創立72年になる川越RCです。親子3代が川越RCに所属している事です。今泉さんというお名前で、初代は99才・2代目は74才・3代目は44才です。親子で在籍するのも珍しいですが、3代は大変まれでビックリしました。初代目の方は、「今泉記念ビルマ奨学会」というのを創り、毎年20人の留学生に2年間奨学金を支給しているそうです。パストガバナーだそうです。2代目は霞が関カンツリー倶楽部の総支配人です。そして3代目は初代・2代目を引き継いでいるそうです。この話は、ロータリーの友の16ページに載っております。3人が並んだ写真で出ております。そして、だいぶ話を省力して話しましたので、改めて読んでみて下さい。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	45/52	86.54%	48/52	92.30%
今回	40/52	76.92%	会員総数	54名

欠席者 赤池君、秋元君、秋山君、芦川君、窪田君、栗原(康)君、酒井君、諏訪部(照)君、藤江君、森崎君、横溝君、渡邊君

幹事報告

副幹事 加藤憲勝君

- 9月行事予定(ロータリーの友月間)
 - ①7日(木) 呉竹 クラブ広報委員長 町野暉君
 - ②14日(木) 呉竹 夜間例会 卓話:小塚英樹君 (外部卓話として石井良衛さん)
 - ③28日(木) 呉竹 卓話:杉崎亮慈君です。
- 9月10日~12日は酒田東RCを訪問します。同行される方はよろしくお願ひします。
- 10月行事予定(地域社会の経済発展月間)
 - ① 1日(日)三島広小路ウェアハウス 12:00 家族親睦例会 例会日、例会場変更です。
 - ②12日(木) 呉竹 夜間例会 テーブルミーティングです。この日は親睦委員会より、お酒が出ますので、飲まれる方は車での来場を控えてください。
 - ③26日(木) 箱根の里 12:30 例会「過去の三島西RCを知る」例会。卓話者は遠藤正幸君です。場所がわからない会員がいると思いますので、親睦委員会かSAAが道沿いに立つて案内をします。
- その他報告
 - ①米山委員会 秋季例祭が行われます。9月16日(土)14:00より米山記念館です。毎年参加者が少ないので、今週、来週の2回にわたり回覧しますのでぜひ参加してください。
 - ②見晴しフェスティバルは今年も開催はしますがボランティアは不要とのことです。例年通り、職業・社会奉仕委員会より飲料の提供を行いたいと思います。
 - ③第1グループ会長幹事会ゴルフコンペの案内を配布しました。出席者がまだ若干名足りない状況ですので参加出来るような方はよろしくお願ひします。締切りは明日、9月8日です。
 - ④ロータリー塾の案内を回覧します。10月28日(土)グランシップで開催されます。入会3年未満の方が対象です。
 - ⑤日台親善会議が10月20日(金)台北で開催されます。こちらにも参加を募集します。ロータリー塾、日台親善会議とも参加できる方は幹事までご連絡ください。

おめでとう

会員誕生日 橋本君
入会記念日 矢岸君

スマイルボックス

- ◆伊丹君、皆様ご承知の通り、諸物価の値上がり、又人件費の高騰等で大変な時期となり多忙な日々でございますが、そんな時広島県のホーユアの経営難があり、又多忙な今日です。誠に申し訳ないですけど本日は早退致します。
- ◆Dテーブル、8月28日にテーブルマスターのご厚意により、せせらぎ亭「はやくこ」にてアンコールテーブル会を開催いたしました。幹事にもご参加いただき、和気あいあいといった雰囲気の中、美味しい料理とお酒を堪能しました。アンコールテーブル会は三島西ロータリークラブでは異例の開催でしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

卓 話

「ロータリーの友」月間について

クラブ広報委員長 町野 暉君

今月は「ロータリーの友」月間という事で、毎月、皆様ご配られて、読まれている「ロータリーの友」について、お話しさせて頂きたいと思っております。アメリカの国際ロータリー本部で編集発行しているRIの機関雑誌「ROTARY」に加え、RIに認可された地域雑誌を「機関雑誌」として定義されます。これらの雑誌は全世界に30誌以上あり、「ロータリーの友」はそのひとつです。どの雑誌も共通しているのは、RI会長メッセージ等RIが指定する記事を掲載していることです。

「ロータリーの友」は国際ロータリー(RI)の認可を受け、「ROTARY」と「ロータリー地域雑誌の総称」の一員として発行されている雑誌です。「ロータリーの友」はロータリーについての情報誌で、広報誌ではなく、ロータリアン以外の方々を対象としては編集されていません。「友」はロータリアンがロータリーライフを深めるため、そしてクラブがRIとのつながりを実感させるためにも必要な媒体です。ロータリーの友委員会としては雑誌の一般的な事ではなく、「ロータリーの友」に焦点を当てることによって、さまざまなロータリー情報について知っていただく機会になればと考えているようです。

2013年規定審議会の決定により、ロータリー機関雑誌について、会員は印刷版か電子版のいずれかを選択して購読することができるようになりました。それを受けてロータリーの友委員会ならびに一般財団法人ロータリーの友事務所では、2014年1月号から電子版を発行し、2022年7月号からは「印刷版」と「電子版」を選択して購読ができるよう

になりました。

「ロータリーの友」という雑誌の名前の由来について、投票によって、遠藤健三氏提案の「ロータリーの友」に決定しました。この名称に対し、柏原孫左衛門氏がおつまみの「ピールの友」からヒントを得たのではと発言、爆笑となったそうです。

「友」の変遷についてですが、1953年1月創刊され、発行部数は3300部でした。横組みでスタート始まりました、その後、俳句・歌壇など、一部の記事を縦組みで入れることになりました。1980年7月号、RI公式地域雑誌(現、ロータリー地域雑誌)の認定を受ける事になりました。2003年1月、創刊50年となって新たな一歩を踏み出す事になりました。2017年7月号、表紙にイラストを採用し、ロータリアンの家族、ロータリーのプログラムの参加者などを視野に入れ編集を工夫する事になりました。2023年1月、「ロータリーの友」は創刊70年を迎える事になりました。

「ロータリーの友」日本語版は現在、数十万部発行されて、ロータリーの友は日本のすべてのロータリアンに購読が義務付けられています。この雑誌は縦書きの部分と横書きの部分から成り立っております。横書きの部分は国際ロータリーの活動・日本国内におけるロータリーの活動等、ロータリーの活動についての報告及び紹介記事です。横書きの記事の中に「RI指定記事」と注記された記事があります。「ロータリーの友」は世界各地で使用されているそれぞれの言葉で出版することが認められていますが、いかなる言語で出版されたとしても、このRI指定記事だけは翻訳掲載しなければならないという規定があります。

縦書きの部分は日本語版「ロータリーの友」が独自に編集をおこない発行している部分です。縦書きの所は日本のロータリアンの交流の場でもあります。ロータリアンからの投稿を広く受け付けております。クラブや地区での活動・ロータリアン同士の交流に関する原稿や写真・ロータリーに対する意見などを掲載していますまた、ロータリー俳壇・花壇/同論・異論/ガバナー自慢/友愛の広場など多彩なページも設けられます。

この「ロータリーの友」という雑誌の横書きと縦書きに関して、世界共通の文字は左から右への横書きが主流ですが、縦書きは東アジア漢字文化の根幹であると書いてあります。漢字文化圏の新聞を見ても今現在、縦書きを続けているのは日本だけとなっていますとの事です。中国も韓国も現在では皆横書きです。台湾では横書きが増えてきています。日本の新聞は縦書きを堅持していますが、インターネット版はすべて横書きです。昔、中国では縦書きが主流でした。縦書きと横書きの併用は一番大切で、良いのではないかと書いてあります。右・左・上の3方面から文章を書くことができる漢字文化は、ぜひ将来に残しておきたいとも書いてあります。

縦書きと横書きを共存させている「ロータリーの友」自体はまさに将来のグローバル化した世界における日本文化のあるべき姿を体現しているように思われます。

新型コロナウイルス及び感染症の蔓延は全体的に落ち着きました、クラブの交流は従来通り、行動が制約もなく、行われて行く中、毎月配られている「ロータリーの友」は果たすべき役割を認識し、さらなる関心を持って「愛読」いただけるようロータリー機関雑誌になればいいなと思います。

(週報担当:町野 暉)